

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月18日
------------------	-----	------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	小多機職員 10名
--------------------	------	-----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	7	2	1	10

前回の改善計画	家族とも十分なコミュニケーションをとる為に、本人の情報を整理して伝えられるように準備をしておく。毎週のカンファレンス時期に合わない場合でも、新規利用のある場合にはカンファレンスを行えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	インテーク時に確認した情報については、資料として整える前であっても、チームへの共有を優先する事させた。面接、サービス担当者会議の場にケアマネジャー単独でなく、ケアワーカーも同行する様にした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	10	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	2	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	10	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 慣れていない時期の利用者・家族に対しこちらのことを分かってもらうために精神的安定にも重点に話を持っていくようにしている。 言いづらいニーズなどを引き出すよう努めている。 新規ご利用前に個別ファイルを確認し情報を得ることができるカンファレンスや業務時の合間に情報共有や報告・相談を行えている。 <ul style="list-style-type: none"> 訪問前に申し送りや記録を読み不明な点があると他のケースワーカーに聞いて確認をする。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> できることできないことの説明を理解されていない利用者 およびその家族に対する説明が届かないことが多い。 情報収集の気持ちが先立ち相手にとって緊張を与えがち。 十分なカンファレンスができず情報があまりないまま支援に当たらなければならない時がある。 カンファレンスの時に新規利用についての情報を共有することはできているが、それ以外緊急的にカンファレンスを開くことはなく何を必要として利用されているのか支援内容が手探り状態で利用開始となることがあった。 ミーティングを通じて共有するようにしているが、その後どうなったのか取り組みが中途半端になることがある。その間にプラスのニーズが追加されていることもあるが、共有できないこともある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
インテーク時に多職種で参加する事で、多様な情報を得る事が出来た事と共に、実際にあった所感なども共有、拡散が容易となった。以後可能な限り取り組みを継続させる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	1	1	10

前回の改善計画
個別性の高い目標について、担当職員が計画的に取り組むことができるよう、スケジュールを立てている。

前回の改善計画に対する取組み結果
担当職員が主体的にライフサポートプランの作成にかかわる事で、プラン期間ごとの目標が明確となり、計画的に取り組むをおこなえるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	1	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	0	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	2	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	2	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
1、2 についてライフサポートプランに表記されており見直しの際もカンファレンスで共有されている前向きに過ごせる方に対してはサポートできている概ね自身で感じたことは発言している本人の目標など理解把握しアセスメントに基づくようにしている目標について計画的に取り組んでいると思いますご自身の希望、目標に沿ったプランの

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人のゴールを開き出すことが話の流れで聞くことができずわかっていない利用者の方が多い
・まれに本人の目標何したいを目指した支援が難しい場合がある。
・プランに基づいた支援を行った結果変化に対し振り返り見直しを行うことが出来ていない。
・本人の目標を把握できていない計画書を更新する際目標を達成次の新たな目標を設定することはほとんどなかったのもそのままプランを継続することが多かった。
・歩行練習などしないといけないのにできていない人が居る。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
プランに上げたものの取り組みが十分に行えなかったケースや、プランの内容に変化が無く更新されるケースについて、「なぜ行えなかったか」「どうすれば行えるようになるか」協議の場で深掘りして、取り組みを前に進めてゆく仕組みを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

3. 日常生活の支援

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	10	0	0	10

前回の改善計画
 過去最高となる登録者数となるご利用者の支援が円滑に行えるよう、訪問、送迎業務及び事業所内の業務について改善と効率化を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 一人ひとりの状態に合わせた支援を適切に行うため、支援内容の整理を実施する事が出来た。センター方式を一部流用することで、チームとしてご本人の理解を深める取り組みが行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	5	4	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	1	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・日々の訪問により本人の心身の状態の変化に気づき事業所職員が共有することができているその変化に対応する支援が即時的に行われている。
- ・体調の変化や精神的変化を気づいたことはその都度共有し記録にも細かく記載するようにしている。
- ・訪問や送迎時にご本人との会話をできる限り多くするようその中で以前の暮らし方など把握できるよう常に努力している。
- ・利用者の情報について週一回のカンファレンスを含め適時職員間で情報交換し共有することでどうして行けばいいのかチームで考えることができている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自宅での生活環境を整える際、安全性などを優先し本人の気持ちを優先して行うことができなかった。
- ・予想以上に訪問送迎に時間がかかることがある。
- ・ご利用者によっては以前にどんな暮らしをされていたのかあまり把握できていない人もいる。
- ・ケアの質がどうだろうと考えた時ばらつきがありさらなる技術向上の余地がある。
- ・本人の声にならない声はチーム内でその時々感じたことを報告共有しているがケアマネージャーに届いていない気がする。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

チームで連携して支援にあたる為、個々の知識や技量の差の解消を目指し、技術演習を行う機会を持つほか、マニュアルの見直しを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小多機職員 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	3	5	2	10

前回の改善計画

ご本人と共に支えるチームとして、地域やご家族とも協働できるよう、関係作りを進める。具体的な対応を行ったケースをまとめ、整理する事でご本人を中心としたエコマップの作成に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

事業所だけでは対応が困難なケースを複数担当する事があり、地域と協働する機会が多くあったことで意識の改善が図られた。エコマップの作成は特定のご利用者に限られた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	0	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	10	4	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	4	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	4	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・訪問時ご家族が在宅の際にはご家族とコミュニケーションを大切にしながら支援を行っている。
- ・ご本人の安否確認所在確認を行うため地域の人々や警察などと連携をしている
- ・生活スタイルを理解した上で訪問していない時間帯に何をするのかを把握しその準備を行っている
- ・援助内容に引き継いだことやご利用者ご家族との会話より理解している
- ・訪問時に地域の人と会った時には気持ちよく挨拶するよう心がけている
- ・ご利用者と地域とのつながりが切れないように意識している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・社会資源の把握はなかなか出来ておらず申し送りや昔から深く関係のある地域の方や民生委員の方でもこの学区はこの人というところまでは把握できていない。
- ・基本情報やケアプランの確認ができておらずご本人の意向を理解できていないケースがある。
- ・地域との円滑な関係づくりは難しい。
- ・生活背景がリアルタイムに把握できてないどこに独居の利用者にその傾向がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

地域にある商店や公的機関と連携を取り、個々のケースへの対応ばかりでなく、地域課題の解消につながる取り組みを進めてゆく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	3	1	10

前回の改善計画

事業所で支援を抱え込まず、ご家族の支援や地域の社会資源を意識して支援の輪を拡大させてゆく事ができるよう、働きかける。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご家族や地域住民とも話し合いの場を設け、事業所で抱え込むかたち以外で在宅生活のあり方を考える機会を持つことが出来た。まだ一部のケースに限られるが、取り組みを続けてゆく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	2	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	4	2	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	6	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5	2	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・必要に応じて通い、訪問、宿泊などサービス内容を変更させ提供をすることができる
- ・日々の訪問により変化がみられた場合は柔軟な支援が行われている。判断が必要な場合には事業所に電話をして指示を仰ぐことができています
- ・かかりつけ医や薬局訪問看護リハビリなどと連携しこちらの支援の間を埋める形で支援ができています
- ・状態に合わせてサービス提供し、変化を共有しながら今後どのようにしていこうかと話し合うことができています

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・臨時の宿泊利用には、なかなか対応ができていない。
- ・チェックの確認不足のため訪問が行われないことがあった。翌日朝の訪問まで気づくことができなかった。
- ・地域の支援を使うことなく自分たちでどのようにしていけばよいかばかり考えてしまっている。
- ・ご家族との連携ができていないのではと感じるケースがある。
- ・サービスを利用開始することで地域の社会資源との関係が切れてしまうことがあるように感じる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

自己評価でも柔軟な支援を行う事が出来ているとの認識があるが、対応を変化させた根拠や、その目標が曖昧になる事がないよう、取り組みの評価がしっかりと行えるようになる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

6. 連携・協働

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	1	0	10

前回の改善計画
 地域での催しや活動が、段階的に以前の状態を取り戻しつつあるなか、感染予防等の対策をおこないつつ、参加の機会を増やしてゆく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 認知症サポーター養成講座への参加など地域の取り組みへの参加や、事業所でのイベントの開催など、昨年度より充実させる事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	3	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	2	6	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	5	0	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	6	1	3	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・自治会の夏祭りへの参加や1階の地域交流スペースの活用ができている。
 ・敬老会にバンドの人を呼んだりお祭りなどイベントに参加ができている。
 ・地域交流スペースを開放しているので地域の方が事業所に来ることは多かった、今年は地域の方にボランティアとして活動してもらうことができた。
 ・訪問看護やリハビリと事業者間で連絡ノートの作成情報共有を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・ケアマネのみが行っている。
 ・地域での会議等への参加はできていない。
 ・地域の人に来てもらうということが多い、一緒に活動することはあまりできていなかった。
 ・地域の子供たちなどが事業所に来ることはないと思います。
 ・医療機関や地域包括センター等の会議に出席したことがない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 継続してボランティア活動等の受け入れを図る。
 児童館など、地域の子供にも事業所を訪れる機会となる取り組みを再開させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

7. 運営

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	9	1	0	10

前回の改善計画
ケアの質を落とすことなく安定した運営を行うため、業務からのムリムダを省く取り組みを継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果
意識的に地域の住民やご家族とコミュニケーションを図る事で、地域の情報収集を行う事が出来たほか、苦情や差し迫った要請に発展する前に話を聞き対応を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	9	1	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	0	1	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	2	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1	3	4	2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・家族の思いや意見を持ち帰り事業所で共有できている。
 ・利用者家族や地域の方からの意見や苦情を受けた場合報告し共有することができている。
 ・住んでいる地域の方に話しかけ今地域で何が起きているのか情報収集しチームで共有するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・地域交流スペースの利用はあるが共同したりする取り組みができていない。
 ・運営推進会議に参加し一般職員が利用者及びその家族地域の声を直接聞く機会がない。
 ・地域と協働した取り組みはほとんど行われていない。
 ・地域に必要とされている拠点にはなかなかない積極的な協同は出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 同エリアにおける防災対策の共同実施を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	3	0	10

前回の改善計画

定例での研修や勉強会の参加機会については問題なく目標を達成できる水準にある。そのうえで研修情報のアナウンスだけではなく、職員一人一人の目標を共有することで、個々のスキルアップの為の研修への参加の充実を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

個々の質の向上に向けた活動を支援する為、外部研修への参加や、事例発表の機会を持つことが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	5	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	7	2	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	6	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	7	0	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・毎月動画を見て報告書を作成している。
- ・防災士の研修を受け資格試験を受ける予定がある。
- ・法定研修と月例のオンライン研修がきちんとした形で行われている。また法人で始まったオンライン研修は職員の自由に選択し見ることができ自己研鑽に役立っている。
- ・資格所得のための研修に参加できて良かったです。
- ・ヒヤリハット報告を積極的に上げることに取り組んだ。
- ・自分の目標である認知症への理解を深めるための研修にも参加することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・研修で学んだことを周りの職員に伝達できていない。
- ・地域連絡会にはケアマネージャーが参加しているため参加することはない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

法定研修実施についてオンライン上での受講体制が整っていることから、より個々の目標に沿った研修参加の機会や、資格所得の為の支援を充実させてゆく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月18日

9. 人権・プライバシー

メンバー 小多機職員 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8	2	0	0	10

前回の改善計画
 ご利用者の個人情報について不適切な取り扱いとならないように、事業所内でのルールを策定し周知を強化するとともに、報告や相談の内容が周囲に聞こえる事が無い様に普段のケアの場面においても意識の向上に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 個人情報の取り扱いについては重ねて研修等を行う機会を持ち個々の問題意識は向上するものの、連絡帳の入れ間違いなどの事故や、ご利用者と同じフロアでカンファレンスが行われていることなど、課題を残す。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	5	5	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	5	2	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	7	0	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	5	2	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・プライバシーに関わる内容を他のご利用者が居る時に聞こえないよう配慮している。
 ・人権プライバシーについて定期的な研修を受け日常的に意識することができている。
 ・身体拘束虐待は事業所では行われていない。
 ・逆に虐待などは行われていないと思っているが、スピーチロックや少し荒っぽい言葉遣いをとることがあるのを自覚し、注意している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・個人情報については気をつけているつもりであるが訪問から戻った時の申し送りなどフロアで職員同士が話をしてしまっていることがある。
 ・フロアでカンファレンスが行われることについて一考の必要を感じている。
 ・連絡帳のはさみ間違いなど個人情報の流失に関わる事故が起こっている。
 ・成年後見人制度について十分に理解していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・カンファレンスや会議時の場所、環境に工夫を行う。
 ・成年後見人制度への理解を深める為、外部研修等に参加する機会を設ける。

小規模多機能型居宅介護事業所桂坂
令和6年度事業所評価におけるA項目（自己評価）に基づく

令和7年度 事業所目標

令和7年2月17日作成

1	初期支援（はじめのかかわり）	インテーク時に多職種で参加する事で、多様な情報を得る事が出来た事と共に、実際にあった所感なども共有、拡散が容易となった。以後可能な限り取り組みを継続させる。
2	「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	プランに上げたものの取り組みが十分に行えなかったケースや、プランの内容に変化が無く更新されるケースについて、「なぜ行えなかったか」「どうすれば行えるようになるか」協議の場で深掘りして、取り組みを前に進めてゆく仕組みを作る。
3	日常生活の支援	チームで連携して支援にあたる為、個々の知識や技量の差の解消を目指し、技術演習を行う機会を持つほか、マニュアルの見直しを行う。
4	地域での暮らしの支援	地域にある商店や公的機関と連携を取り、個々のケースへの対応ばかりでなく、地域課題の解消につながる取り組みを進めてゆく。
5	多機能性ある柔軟な支援	自己評価でも柔軟な支援を行う事が出来ているとの認識があるが、対応を変化させた根拠や、その目標が曖昧になる事がないよう、取り組みの評価がしっかりと行えるようになる。
6	連携・協働	継続してボランティア活動等の受け入れを図る。 児童館など、地域の子供にも事業所を訪れる機会となる取り組みを再開させる。
7	運営	同エリアにおける防災対策の共同実施を図る。
8	質を向上するための取組み	法定研修実施についてオンライン上での受講体制が整っていることから、より個々の目標に沿った研修参加の機会や、資格所得の為の支援を充実させてゆく。
9	人権・プライバシー	カンファレンスや会議時の場所、環境に工夫を行う。 成年後見人制度への理解を深める為、外部研修等に参加する機会を設ける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 京都福祉サービス協会	代表者	理事長 宮路博
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所桂坂	代表者	浦川良太郎
事業所の特徴	<p>「くらしに笑顔と安心を」の理念のもとに、京都市に多種多様な介護事業所を持つ法人である。</p> <p>事業所は桂坂学区の福祉ゾーンに位置し、洛西ふれあいの里保健研修センターが担ってきた地域コミュニティの拠点としての役割を踏まえ、高齢者の居場所づくりの推進や、地域住民同士の交流の場の提供など、地域で高齢者を支えるネットワークの構築を進めていく。また、地域との関係性を大切にしながら、利用される方がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援している。</p>		

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	別紙のとおり、抽出した課題について定めた目標に取り組みます。 ※別紙参照	9つの取り組み結果、できていない点を参照願います。	・オンテマント研修の取り組みはうまく使えていると思います。 ・「個人評価」になると、地域のことなど、やっつけないといけないという評価があります が、個人として利用者宅の周りの住民との関わりもあります。また、地域包括として、何かできないか検討しています。 ・清潔に保つていて、大々まなど思います。 ・ポラントケアの方も継続的に来ていただけているのは良いと思います。	※別紙参照
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所外観部の花壇の整備、清掃を行い、地域に近づけて親しみやすい事業所となるよう取り組みを行う。事業所内の作品掲示について担当者を定め、ご利用者と共に計画的に行っていく。	事業所の作品掲示について、ご利用者、ボランティアの方を主体に、安定して取り組みることが出来た。	・マイナカードの申請会として交流スペースで実施されたのはありがたかったです。 ・桂坂小学校での認知症サポーター養成講座では引き続き協力をお願いいたします。 ・SNS(インスタグラム等)の発信により、多くの方に施設の取り組みを見ていただく機会と なっているのはいいと思います。	SNSによる啓発活動を継続し、地域に届かれた運営を目指します。 また、地域包括支援センターと連携し、地域との関わり(園サボや地域ケア会議等)に取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との関わりがもたらした事例を毎月報告する機会を継続させる。また、SNS による情報発信を継続する事でより関わりが深まった運営を目指す。	マイナカードの申請会として交流スペースで実施されたのはありがたかったです。 ・認知症サポーター養成講座への参加の他、昨年度から開始されたポラントケア活動の継続を図る事が出来た。 法人で取り組みを行った災害地への介護職員派遣の経験が地域で報告する場を持った。	・最近、コロナのほか、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎等様々な感染症が流行して います。マスクを外している方も中には多くおられます。感染には気を付けてくださ い。 ・認知症の方の対応では、地域住民や警察との連携も重要になりますね。	利用者が増えてきた地域との関わり の継続のほか、利用者の希望や 暮らしのありように合わせて地域 の関係団体と連携していく。
D. 地域は 出向いて本人の暮らしを支える取組み	Covid-19の5類移行に伴い、これまで途絶えていた、外部サービスや、ボランティア受け入れを再開し、ご利用者と地域の双方の活動を支援していく。	個々のご利用者に関わる、近隣住民や商店、交番などと連携し、対応を行っている。 生活上の課題がある方に対しては取り組みを行う事が出来たが、以外のご利用者に関しては、情報収集などにとどまる。	・疫学委員会に寄せていただいた、本当に良かった。こういう家族懇談会のような場があるのが大切だと思います。 ・運営推進会議開催の案内や諸事録は、ご利用者やご家族に配布していますが、なかなか参加される方がいません。	運営推進会議の拡大版として、定期的に家族会を開催し、会議での意見や希望を運営に取り入れられるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の家族及び本人への案内を、分かりやすい手紙等を付け、より積極的に行う。昨年行えなかった家族懇談会を開催する。	4年ぶりに家族懇談会を開催することが出来た。以後も継続して取り組みを行う予定としている。	・福祉ゾーンはお互いに顔の見える関係はできていますので、継続して災害時連携の訓練等は行っていたらと思います。 ・被災地支援の経験も、BCP に取り入れたり、桂坂学区内の防災に生かせたらと思います。	BCP に基づいた災害対策を委員 会を中心に実施可能なものとなる ようにしていく。
F. 事業所の防災、災害対策	事業所に置く福祉ゾーンでの各事業所間の連携を再構築する。 法人で取り組み難き半島地震への支援から、災害対策についてのアドバイザーという災害時に職員の安全を確認するアドバイザーとして、BCP に盛り込んでいく。	災害対策委員会を中心に、消防訓練やBCPの見直しなど活動を行っている。 福祉ゾーンにおける災害時連携の取り組みは、進捗していない。 オフレコミーティングという災害時に職員の安全を確認するアドバイザーとして、BCP に盛り込んでいく。		

